

落石発生源対策

ワイヤーネット被覆工法 —NETIS:CG-110030-A—

- ☆不安定な転石群等をワイヤーリングからなる自在性の高いネットで一体化するように被覆し、アンカーピンや深層アンカーで固定。
- ☆個々の石の安定計算(滑動、転倒:地震力考慮)を基に、全体を被覆(一体化)した状態の安全率を求め所要抑止力を決定→合理的設計
- ☆長期耐久性を考慮し、使用部材はステンレスおよびダクタイル、深層アンカーは岩用のみとする。



(谷部の転石群を固定)



(バックリング防止例)



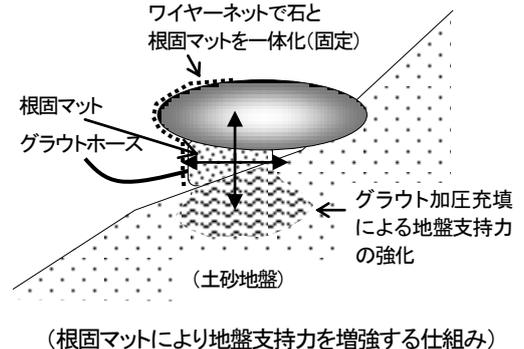
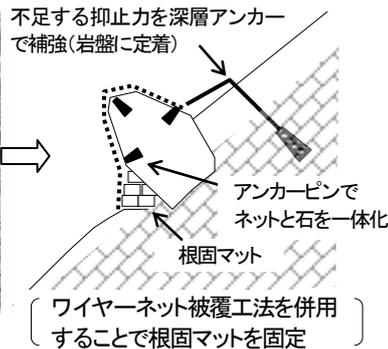
(崩壊性斜面の固定:ロープ足場施工)

圧入マット式根固工法 —特許出願—

- ☆根固工の基礎(床堀)が確保できない場合、根固専用マットを用いて所要空間を加圧充填(所要地盤支持力を確保)し、対象物の安定を図る。
- ☆型枠が不要であり、山頂付近に散在する小規模な工事でもモノレール仮設により容易に施工可能。



(根固工の床堀ができない場合)



クラッシュネット工法 —しまね・ハツ・建設ブランド—

- ☆不安定な石をワイヤーネットで巾着状に包み、安定形状に小割整形後そのまま残置(…除去する場合は仮設材として再利用)。
- ☆安定度が不足する場合はアンカーピン(くさび式、削孔長 23cm、削孔径 38mm)や深層アンカー(くさび式、削孔長 1~2m、径 65mm)で固定。



(県道~日本海)

〔φ 3m の転石をワイヤーネットで巾着状に被覆し、安定形状に小割整形した後、そのまま残置〕



〔防護ネットを直撃した石をネットで巾着状に被覆し、小割整形後深層アンカーでそのまま固定〕

